



地域の見守り隊

小学生の通学に際し、各地域のボランティアが朝と夕方に児童の安全のため見守り活動で活躍しています。



防災ガイドマップ（暮らしの便利帳と合冊）

災害に備えるための防災ガイドや大阪府が調査した土砂災害危険箇所、洪水リスク表示図など避難情報を記載したマップは全世帯に配布しています。



犯罪の少なさが大阪府内トップクラス

河内長野市の犯罪発生率（人口10万人当たりの犯罪発生認知件数）は、平成25年と27年に府内で最も少ない市となっています。これは、防犯声かけ運動や地域住民による見守り活動、一戸一灯運動など日頃からの市民の防犯活動への取り組みが本市の安全安心に寄与していると思われます。



消費者相談

市民が安心して消費生活を送れるよう、必要な知識や情報の提供を行うなど、消費者をサポートしています。



防犯カメラ

自治会に対して防犯カメラの設置を補助しているほか、犯罪抑制などに効果が見込まれる場所に公設の防犯カメラを設置しています。



青色回転灯装備車（青パト）による防犯パトロール

防犯ボランティアの徒歩や青パトによるパトロールによって、「地域の目」が確保され、犯罪者が犯罪をおこしにくい環境を作っています。



各地域の自主防災訓練

自治会や小学校区の地域まちづくり協議会など地域の組織単位でも自主防災訓練が実施されています。



24時間市民の安全安心を

平成26年4月に完成した消防庁舎は、阪神淡路大震災クラスの巨大地震にも耐えうる耐震構造で、災害発生直後から適切な部隊活動の展開が可能。4階の最新鋭のコンピューターを駆使した高機能消防指令センターは24時間市民の安全安心を支えます。



地域防災総合訓練

毎年11月第1日曜日に開催する地域防災総合訓練では、市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を目的に、各地域の自主防災組織や関係機関などが参加して実施しています。



住みよいまち
かわちながの

安全・安心
支えあい

安全で安心な
まちづくり

誰もが住みよいまちづくりの基本は、安全安心が確保されることです。市民・関係団体・事業者などとの連携による防災・防犯などの安全対策に取り組んでいます。



中学校での認知症キッズサポーター養成講座

認知症の人と家族を 応援する取り組み

市では認知症の理解や対応方法を学び、認知症の人や家族を温かく見守り応援する認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」や、さらに知識を習得し、地域で活動するボランティアを養成する「認知症パートナー養成講座」を開催しています。また、認知症の人やその家族と地域の人が気軽に集える「おれんじカフェ」や、認知症の早期発見・早期対応を目的とした「もの忘れ相談会」など様々な事業に取り組んでいます。



認知症サポーター養成講座のマスコット



介護相談員

市が委嘱した介護相談員が、月2回程度施設を訪問し、介護サービス利用者の身近な相談相手となることで、介護サービスの向上に努めています。



介護予防

モックル介護予防体操の普及や元気アップフレンズ（介護予防ボランティア）の養成を行い、地域での自主的な介護予防活動を推進しています。



がん検診

がんによる死亡者の減少を目指し、5種類（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）のがん検診（対象市民は各がん検診ごとに性別・年齢の要件あり）を低額な費用負担で実施しています。



親子の健康

ママパパ教室など母親・父親になるための教室を出産前に開催しているほか、生後4か月から3歳6か月まで一定の間隔で健康診査、出産や育児などについて家庭訪問や電話・面接による相談を行っています。



元気アッププラス教室

いつまでも健康で過ごせるように

生涯にわたって心身ともに健康でいきいきと生活できるよう、健康意識を高め、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図っています。



体力測定会・ニュースポーツ体験会

握力や上体おこしなどの体力測定とスポーツ推進委員の指導を受けながら、新しいスポーツを取り入れることで、健康増進に寄与しています。



住みよいまち
かわちながの

安全・安心
支えあい

福祉・医療・健康
支えあい

市民主体の健康づくりや安心して医療が受けられる体制づくり、地域における「安全・安心・支えあい」の実感できる暮らしやすいまちづくりを目指します。



充実の学校教育

河内長野市は全国で3番目に教育立市を宣言しました。学校教育には特に力を入れており、小学1年生から外国人指導員による英語教育をはじめ、ICT環境を活用した世界20数カ国とテレビ会議で国際交流を行っています。また、地域とともに学校運営を進める学校運営協議会（コミュニティスクール）制度を大阪府下で初めて全学校区で導入するなど充実の学校教育を進めています。



ふるさとを愛する子どもたちを育む



◀かわちながの物語

わがまちを学ぶオリジナル教材「かわちながの物語」。小学5年生から中学1年生までの3年間、河内長野について学ぶことで郷土愛を醸成しています。

こども文化財解説▶

ふるさとや地域の文化財を学び、紙芝居や図などで解説する事業。ふるさとへの愛着を持つ子どもたちを育てています。



外国人指導員による英語教育



ICTを活用したテレビ会議



地域と一緒に教育活動を行うコミュニティスクール



保健師・助産師が赤ちゃんを訪問

生後4か月までの赤ちゃん和妈妈のもとへ保健師・助産師が訪問し、赤ちゃんのことやママの産後の体調のことなどについて、相談にのったり、アドバイスしたりしています。



子ども・子育て総合センター あいっく

就学前の子どもとその保護者が利用できる木のぬくもりを大切にした子育て広場。ボールプール、ミニチュアの建物、滑り台があるほか、手遊びや読み聞かせ、育児講座なども開催。保育士・保健師が常駐し、子育てに関する相談、サークルの立ち上げや活動の支援も行っています。河内長野駅前の好立地で、通院や買い物などの短時間でも、子どもを有料で預かるピーチルームが利用できます。



住みよいまち
かわちながの

育み・学び
思いやり

子育て・学校教育

子どもが健やかに育つ環境の整備や、ふるさとへの誇りを高め、未来を拓く教育を推進しています。また、地域総ぐるみで子どもを育むことができる体制づくりを進めています。



下里運動公園・人工芝球技場
メインコートは大人用サッカーコート1面の広さがあり、子ども用サッカーコート2面、ラグビー用コート、グランド・ゴルフでも使用できるほか、8基の低灯夜間照明を備え、夜間の使用も可能となっています。



生涯スポーツ活動の振興

子どもから高齢者まで生涯にわたり、スポーツに取り組むことができ、健康づくりや生きがいがづくりにつなげることができるようスポーツ活動の充実を図っています。

河内長野市民大学「くろまる塾」

くろまる塾は「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも・みずから」自分にあった学びを見つけ、生涯にわたって学習を継続できるよう、いろいろな学習を総合的・体系的に提供するしくみです。学びの場が、出会いの場へ。出会いの場が人づくりの場へ。人づくりの場が、まちづくりの場につながります。



河内長野シティマラソン大会

市内中心部から滝畑ダムまでの雄大な奥河内を駆け抜けるマラソンで、ハーフや10^{キロ}、5^{キロ}など豊富なコースが好評。毎年2000人以上が参加するスポーツイベントです。



蔵書数約40万冊の市立図書館

図書館は午前9時30分から午後8時まで開館。市が誇る40万冊もの蔵書は、自宅からもインターネットで気軽に検索ができます。図書館メールマガジン等で情報発信するとともに子どもから大人まで気軽に読書に親しめるイベントも開催しています。



日本語サロン

多文化共生と国際交流

本市では、国際交流協会を中心とした市民レベルの幅広い事業を展開することにより、国際交流・多文化共生の推進を図っています。



文化会館 ラブリーホール

クラシックやオペラ、演劇など芸術文化の殿堂として市民に親しまれています。ラブリーホールミュージカルスクール生がオリジナルミュージカルを演じるほか、マイタウンオペラや世界民族音楽祭も開催されています。また、文化連盟による文化活動の拠点にもなっています。



住みよいまち
かわちながの

育み・学び
思いやり

生涯学習・文化芸術
スポーツの振興

文化活動やスポーツの振興、一人ひとりが尊重しあえる思いやりのある関係づくりや、いくつになっても学ぶことができる環境づくりなど質の高いまちを目指します。

大阪府内でトップレベルの 広さを誇る公園面積

市内の住宅団地では、開発にともなって街区公園や緑地が整備され、平成 28 年 6 月現在、本市の都市公園（緑地含む）は 261 か所（201.16 ㍏）、市民 1 人当たりの都市公園面積は 18.4 平方㍏となっており、大阪府内においては、トップレベルを誇っています。



公共交通の維持・充実

誰もが安心して生活できる移動環境の構築を目指し、公共交通の利便性の向上や利用促進に努め、維持・充実を図っています。



河内長野 WATER

市内を流れる石見川の渓流水を緩速る過し、ボトル詰めしたもの。水の大切さや水道への理解と関心を高めてもらうため、毎年 6 月の水道週間に無料配布しています。



住みよいまち
かわちながの

潤い・快適
活力

環境整備・
都市基盤づくり

豊かな自然と暮らしが調和する環境づくり

豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくため、森林や河川、農地などを保全活用しています。



もったいない市
(食器のリユース)



ぐるぐるマルシェ
(子ども服のリユース)

循環型社会の構築

市民の理解と協力のもと、ごみの減量化をはじめ、自然エネルギーの導入、環境にやさしいライフスタイルや事業活動の浸透を図り、環境負荷の少ない循環型社会の構築を推進しています。



道路基盤の整備

国道 371 号バイパスや大阪河内長野線、高速道路などの広域的な幹線道路や、堺市方面へのアクセス道路等の整備促進について、関係機関と連携を図りながら取り組むとともに新たな市道整備については、優先順位をつけながら取り組みを進めます。



高速道路の整備に向けて

「大阪南部に高速道路を！」という願いのもと、平成 27 年 12 月 13 日に大阪南部高速道路事業化促進協議会が設立され、本市を含む 15 市町村が大阪南部地域に阪和・西名阪・南阪奈・京奈和の各自動車道と接続する道路ネットワークの強化を図る活動を進めています。



地酒



鋳物製品



つまようじ



すだれ



管継手



ステンレス



釘・鉄



ベアリング

商工業の振興

地域に根ざした商工業の支援を推進するとともに、健康・暮らしや技術革新分野など、時代に即した産業振興を促進しています。



道の駅 奥河内くるまろの郷（平成 29 年春登録予定）

奥河内くるまろの郷には、奥河内ビジターセンターや地産地消レストラン、農産物直売所などがあります。また、近隣には大阪府立花の文化園、林業総合センター「木根館」、ふるさと歴史学習館があり、食べて・遊んで・体験できる、家族みんなの笑顔があふれるエリアです。



住みよいまち
かわちながの

潤い・快適
活力

商工業・
農林業の振興

企業立地に有利な河内長野市

本市には下記のような企業立地に有利な条件がそろっています。①優良な交通アクセス＝南海高野線、近鉄長野線の2路線が連絡し、難波まで約30分、阿部野橋まで約40分、車なら関西国際空港まで約60分

②大阪南東部の丘陵地および山地の安定した地盤に位置＝津波、液状化の可能性が低い
③確保しやすい人材（雇用）環境＝良好なアクセスのため、従業員の通勤エリアが広く、近隣他府県からも通勤可能

就労支援の取り組み

本市では、すべての就労者や求職者が安心して働くことができるよう、勤労者の職場定着に向けた相談事業や講座の開催、就職困難者等に対する各種支援事業、福利厚生事業の推進などに取り組んでいます。



農業・林業の振興

農林業の従事者の減少や高齢化に対応するため、人材育成の支援や販売農家の育成を行っています。



まちのにぎわいづくりや、商工業・農林業の振興を図ることにより「潤い・快適・活力」のあるまちづくりを目指します。